社

Γ 地 理 **B** 」 (選択科目)

位 単 数 4 単 位

学科・学年・学級 普通科 第3学年 1・3・4組

学習の到達目標等

現代世界を項目別に系統的に学習し、理論的に理解します。 現代世界を地域ごとに学習し、それぞれの地域の特徴を理解します。 現代世界の諸問題を問題ごとに具体的に学習し、理解を深めます。 1 2 3 学習の到達目標 使用教科書・副教材等 「新詳地理B初訂定版」(帝国書院)、「新詳高等地図初訂版」(帝国書院)

1 学習計画及び評価方法等 (1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考(学習活動の 特記事項、他教科 ・総合的な学習の 時間・特別活動等 との関連など)	查範	
第	1項目別に見た世界 (1)世界の地形 (2)世界の気候 (3)生活と文付と (4)都市と村落 (5)農林水産業 (6)鉱工業 (7)産業の国際化 (8)南北問題	4 5	自然環境、資源、産業、都市と村落、生活文化に関する地域性について世界的視野から考え、現代世界が多様な地域から構成されていること、それらの地域には類似性や空間的な規則性などがみられること、分布からいくつかのまとまりでとらえたり、いくつかの地域に区分したりできることなどを理解し、現代世界を系統的にとらえる視点や方法を身につけます。	について具体的	1 学 期	
1 学	2世界の諸地域 (1)地域を学ぶ (2)市川を調査 する (3)世界の国々を 大観する (4)アメリカ	6	世界の諸地域を多角的・多面的に学習し、現代世界を構成する各地域は多様な特色を持っていることを理解します。また、世界各地をその規模に応じて地域ごとにとらえる視点や方法を身につけます。	身近な地域が、各型を始め、各型をがからさ地域が、各型では、の人のででは、ののと当ます。	末考	
期	合衆国 7 【課題・提出物等】 授業の中で提出するプリント、授業で書いたレポート、ノートなど					
	【第1学期の評価方法】 考査の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。					

	(8)インド (9)大陸と文化 (10)ヨーロッパ (11)アフリカ (12)オセアニア	9			第2学期中
第	(1)地図を学ぶ (2)地図で学ぶ (3)地図で見る	10	現代の世界と日本が取り組む諸課題について、広い視野から地域性をふまえて考え、現代世界を地理的に理解します。また、地理的に考える意味を理解し、またその考えかたを身につけるようにします。	期前半までの学 習成果をいかし、 いま世界が取り	間考査
2	世界の課題 (4)さまざまな 視点の地域区分 (5)国際社会 (6)国家	11		組む諸課題を考える視点を学びます。	期末考
学	協力と統合 (7)現代世界の 諸問題	12			査
期	【課題・提出物質		リント、授業で書いたレポート、ノートなど		

【第2学期の評価方法】

考査の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。

第	(8)日本と身近な 国々との関係 (9)民族問題 (10)環境問題 (11)人口問題 (12)食料問題	1	現代の世界と日本が抱えている諸課題を、課題ご 具体的に取りあげて、解決方法を探ります。	とに	につい	ヽて、具体 との背景を	年
3							
学	【課題・提出物質		リント、授業で書いたレポート、ノートなど				
期	【第3学期の評価方法】 考査の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、ノートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。				卜容		

【年間の学習状況の評価方法】

下記(2)に示した3つの観点から評価した第1学期、第2学期、第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

確かな学力を身に付ける為のアドバイス	地理的基本事項は、暗記も含めてしっかりと身につけるようにしましょう。そのうえで、例えば地形図等の与えられた課題を、根気強く学習して下さい。
授業を受けるに当た	地理の勉強にあたっては、作業を伴う学習がとくに重要です。レポートなどの提
って守ってほしい事項	出物は、しっかり完成させ、遅れずに必ず提出するようにこころがけてください。

(2) 評価の観点,内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評 価 方 法
関心・意欲・態度	世界各地の生活・文化・社会・自然などに 関心を向けようとしているか、意欲的に課題 を解決しようとしているか、しっかりと作業 を完成させようと努力しているか、自分なり の判断・考えをもとうとしているか。	
思考・判断	世界各地の事象や課題に対する地理的な考え方・客観的な分析ができているか。ひとつの視点からだけではなくて、多様な視点から判断できるか。	・定期考査の論述問題・レポート・授業の中で使用するプリント・発表の内容や仕方
知識・理解	地理的基本事項がしっかりと身についているか、地理的事象の背景をしっかり理解しているか、実際に知識を活用できるか。	

(3) 担当者からのメッセージ

東京湾岸は、埋立て地(人工海岸)の割合が高いですから、現地形図の色塗りして、さらに旧版地形図の海の部分を切り落として、重ねると、埋立部分がわかります。自宅を含む現地形図(2万5千分の1)を、購入する経験から始めてみるとよいと思います。